

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【公表番号】特表2016-538026(P2016-538026A)

【公表日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-525502(P2016-525502)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 18/22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成31年1月15日(2019.1.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外科レーザシステムであって、

レーザエネルギーを発生させるように構成されたレーザ源と、

前記レーザ源に光学的に結合されたレーザファイバと、を有し、前記レーザファイバは、レーザエネルギーを放出して、電磁エネルギーフィードバックを治療部位から収集するように構成され、

更に、治療部位から収集された電磁エネルギーに応答して、出力信号を発生させるように構成された光検出器と、

ディスプレイと、

コントローラと、を有し、前記コントローラは、前記出力信号に基づいて、治療部位における少なくとも1つの状態についての画像又は表示を前記ディスプレイ上に生成するように構成され、

前記コントローラは、前記出力信号を、時間ベースの信号から周波数ベースの信号に変換するように構成され、前記周波数ベースの信号を使用して、治療モードが識別される、外科レーザシステム。

【請求項2】

前記出力信号は、治療部位における少なくとも1つの状態に対応する、請求項1に記載の外科レーザシステム。

【請求項3】

治療部位における少なくとも1つの状態は、温度である、請求項2に記載の外科レーザシステム。

【請求項4】

前記治療モードは、蒸発及び凝固から構成される群から選択される、請求項1に記載の外科レーザシステム。

【請求項5】

前記画像は、前記出力信号に基づく温度情報を含み、前記温度情報は、前記レーザファイバによってレーザエネルギーが放出された治療部位における近似温度、又は、ある期間にわたる治療部位における平均近似温度を指示する、請求項1に記載の外科レーザシステム。

**【請求項 6】**

前記画像は、温度情報のグラフィック表示、又は、温度情報の英数字表示を含む、請求項5に記載の外科レーザシステム。

**【請求項 7】**

前記画像は、前記出力信号に基づく治療モード情報を含み、前記治療モード情報は、前記レーザファイバによってレーザエネルギーが放出された治療部位で行われているレーザ治療を指示する、請求項1に記載の外科レーザシステム。

**【請求項 8】**

前記画像は、治療モード境界を含み、前記治療モード境界は、少なくとも1つの治療モードの上側作動パラメータ及び下側作動パラメータを指示する、請求項7に記載の外科レーザシステム。

**【請求項 9】**

前記コントローラは、前記出力信号に応答して前記レーザファイバから放出されるレーザエネルギーを制御するように構成される、請求項1に記載の外科レーザシステム。

**【請求項 10】**

更に、入力デバイスを有し、

前記コントローラは、前記入力デバイスを通して受信されたユーザ入力に応答して、前記レーザファイバから放出されるレーザエネルギーを制御するように構成される、請求項1に記載の外科レーザシステム。